

## 2016 年度 第 1 回中央委員会 開催！！

9 月 2 日(金)午後 1 時より、東京グランドホテルにおいて、2016 年度第 1 回中央委員会を開催した。

古賀副中央書記長の司会により、議長には阿部中央委員 (共同印刷労組) が就任し、議事次第に沿って進められた。中央委員会開催にあたり、釣本中央執行委員長より以下のご挨拶がされた。



古賀副中央書記長



阿部中央委員

### 釣本中央執行委員長のご挨拶



日頃より本部・地方協議会の諸活動にご理解とご協力をいただき、御礼申し上げます。

本日は中間年であり、大会を中央委員会として開催します。これは 2014 年以來、今回で 3 回目となります。

また、明日は構成組織代表者会議を開催いたします。本部と構成組織の連携を深め、問題点を共有するために開催しております。多くの構成組織にご参集いただき、有意義な意見交換をしていきたいと考えております。

この 1 年を振り返ってみると、熊本を中心とする大きな震災が 4 月に発生いたしました。被災された皆様に心からのお悔やみとお見舞いを申しあげます。幸いにも熊本地協の組合員、従業員の皆様全員の無事が確認されておりましたが、一部の方々においては家屋に大きな被害が発生しております。

印刷労連としては、連合の要請のもと構成組織のご理解もいただき、緊急カンパ活動に取り組んでまいりました。また、関東南部地協の皆様にご苦勞いただいた中央メーデーでの模擬店の売上金も充当させていただき、200 万円を超えるカンパが集まり、連合を通じて被災地に届けております。多くの皆様にご協力いただいたことに感謝申し上げます。

7 月の参議院議員選挙においては、印刷労連として小林正夫候補を応援し、民進党の比例代表候補の中ではトップ当選いたしました。ご支援いただいた構成組織ならびに組合員の皆様にご感謝申し上げます。選挙結果について、民進党は議席を伸ばすことができず、改憲派を含めた与党が 2/3 の議席を獲得する結果となりました。今後の政局を注視しなければならないと考えます。



2016 春季生活闘争は 3 年連続のベースアップが大きなテーマで、新たに連合方針として「底上げ・底支え」による企業規模間・産業間の格差の是正に向けた具体的取り組みを展開したことです。自動車を中心に大手が要求を抑え、子会社や協力会社への賃上げを促し、底上げを図ったことは一定の効果が出たと考えており、継続的な取り組みが必要と思います。

印刷労連も連合方針に基づき闘争を展開し、3 年連続のベースアップを実現でき、一定の成果は出せたと考えておりますが、まだまだ水準は低い状況です。印刷労連として産業間格差の改善、労働諸条件を引き上げるためにどのように取り組んでいくかが、課題となっております。

昨年の大会で 2 年間の運動方針を確認いただき、今日までの様々な改革や活動内容を振り返って検証し、見直すことがあれば見直し、課題の整理に向け取り組みを進めてきました。そして、女性の中央執行委員も選出し、新たな活動も展開してきました。

また、連合が主催する集会在数多く開催され、安保関連法案改正や労働関連法案改悪などの集会に、多くの組合員に参加していただき、世論の喚起に向けた取り組みを展開しました。皆様のご協力に感謝いたします。

本日の中央委員会では運動方針補強案・予算案を中心に審議いただきます。

組織強化・拡大をはじめ、まだまだ多くの課題があります。先輩から受け継いだ民主的労働運動の原点や綱領を再確認し、原点に立ち返り皆さんと議論して取り組んでいきたいと思っております。

また、地方協議会の体制や活動、ブロックにおける活動も 4 年が経過し充実してきたと思っております。ブロック会議のあり方や教育・研修会の開催をはじめ、今期の課題として進めていきたいと思っております。構成組織の皆さんにとって意義ある活動となるよう取り組んでいきます。

印刷関連産業は大きな転換期にあり、出版市場やペーパーメディアが縮小傾向の中、企業においては既存の印刷を核として、様々な分野に挑戦している企業や幅広い事業に取り組む企業があり、まだまだ厳しい環境が続いています。印刷労連としては構成組織の皆様と共にそのような環境変化も考慮し、印刷関連産業の発展に向け取り組んでいきます。

また、印刷関連産業を魅力ある産業にしていかなければなりません。それが日本の産業全体の活性化に繋がり、多くの働く仲間の幸せに繋がるよう努力していきたいと思っております。

本日の中央委員会は限られた時間ではありますが、十分な審議をお願い申し上げます。



第1回中央委員会 議事次第

開会  
議長選出・挨拶  
中央委員会成立宣言  
中央執行委員長挨拶  
報告事項

1. 内部・外部関係活動報告
2. 2015年度本部活動報告
3. 2015年度決算報告
4. 2015年度会計監査報告

議案

1. 2016年度運動方針補強(案)について
2. 2015年度繰越金処分(案)について
3. 2016年度予算(案)について
4. 構成組織からの会費減免申請について
5. 2016年度中央委員の変更について

議長降壇・挨拶  
閉会挨拶

～報告事項～

内部・外部関係活動報告  
2015年度本部活動報告  
2015年度決算報告  
2015年度会計監査報告



日高会計監査

～議案～

2016年度運動方針補強(案)

満場一致で確認

2016年度運動方針補強(案)について、田倉中央執行委員長代行より提案された。2015～2016年度運動方針は1年が経過した中で、活動内容を振り返り、課題を明確にし、残りの1年間で運動方針の完遂を目指し、1年間の活動を精力的に展開していくことが提案され、満場一致で確認された。

運動方針の大きな柱は①雇用の安定と労働諸条件の維持向上②健全な労使関係の構築と印刷産業の発展③組織の更なる発展と福祉の充実④組織の社会的責任と国際平和を運動の4本柱として、各項目の不十分な点を補強し、実施してきた内容については更に進化させる運動としている。



田倉中央執行委員長代行

～質問に立たれた中央委員～



横江中央委員



川村中央委員



古田中央委員



水落中央委員



小川中央委員



大平中央委員

2015年度繰越金処分(案)

2016年度予算(案)

満場一致で確認

2015年度繰越金処分(案)および2016年度予算(案)について、高橋財政部長より提案された。

2016年度予算案策定にあたって、これまでの考え方を踏襲し年度内の会費収入内で予算を作成し、効率的な運営と地方協議会および構成組織の積極的な活動につながることを主眼に予算編成を行ったことが提案され、満場一致で確認された。



高橋財政部長

その他議案

構成組織からの会費減免申請について

南海印刷労働組合および新和印刷労働組合からの会費減免申請について提案され、満場一致で承認された。

2016年度中央委員の変更について

単組役員退任に伴い、下記内容の2016年度中央委員の変更について提案され、満場一致で確認された。



穴戸中央書記長

退任者		新任者	
宇野 学	コクヨ労組	大浦 一泰	コクヨ労組
小澤 浩之	フォームズユニオン	関 広道	フォームズユニオン
濱田 雅巳	高桑美術印刷労組	福塚 勝	高桑美術印刷労組

※発言者の写真は流用させていただきました。ご容赦ください。

閉会挨拶

皆さんの活発な審議により、全ての議案が承認され、感謝申し上げます。

今回は、昨年提案した運動方針の折り返しで、本日確認された運動方針補強を皆さんの「力」で成功に導き、喜べる結果を残せるよう、皆さんと取り組んで行きたいと思っております。



藤野副中央執行委員長

2016年度運動方針補強の具現化に向けて

2015～2016年度運動方針は第25回大会において確認され、それに基づき1年間の活動を展開してきた。1年が経過した中で、活動内容を振り返ると共に課題を明確にし、残りの1年間で運動方針の完遂を目指していかなければならない。従って、運動方針を補強し、向こう1年間の活動を精力的に展開していく。

運動方針の基本的な考え方は、「印刷労連綱領」を基本理念とし、「印刷労連産業政策」における不十分な点を視野に、「印刷情報メディア産業労働者の経済的・社会的・政治的地位の向上により、働く者の幸福の追求を期す」ことを念頭に掲げ、運動方針の大きな柱を①雇用の安定と労働諸条件の維持向上②健全な労使関係の構築と印刷産業の発展③組織の更なる発展と福祉の充実④組織の社会的責任と国際平和を運動の4本柱として運動を展開してきた。運動方針の補強に向けては、各項目の不十分な点を補強すると共に、実施してきた内容については更に進化させるべく運動を強化していく。

具体的には各項目における担当部署を明確にし、それぞれにおいて対応を図ることにより2016年度運動方針補強の具現化を目指していく。

1. 雇用の安定と労働諸条件の維持向上

日本経済が一進一退している中で、印刷産業は一部の企業を除き長期的な低迷が続いており、各企業は生き残りをかけて各種の経営

施策を打ち出している。その中で、事業の縮小や人員削減など、組合員にとって不利益を被る施策も多々実施されている。また、労働諸条件についても3年連続の賃上げが実施されたものの、産業間格差や企業間格差は改善されていない状況にある。従って、組合員が安心して働き、そして安心して生活できる環境づくりに努める。

- ① 労使関係の健全化と強化、雇用の安定と雇用政策の実現  
＜産業政策委員会＞
- ② 各種教育の実施および、フォローアップ＜教育・広報委員会＞
- ③ 構成組織との連携を強化し、各種経営施策への対応＜書記局＞
- ④ 全構成組織における高齢者雇用安定法の制度導入  
＜産業政策委員会＞
- ⑤ ワーク・ライフ・バランスの観点から多様な働き方の構築に向けた各種制度の導入  
＜労働条件委員会＞
- ⑥ 非正規労働者の組織化に向けた取り組み  
＜組織委員会＞
- ⑦ 産業間および企業間の賃金格差の是正  
＜労働条件委員会＞
- ⑧ 生活給および年間収入の観点から安定した一時金の確保  
＜労働条件委員会＞
- ⑨ 時間外労働の削減と年次有給休暇取得率向上＜労働条件委員会＞
- ⑩ 各企業における労働諸条件の維持向上と労働法制への対応  
＜労働条件委員会＞

## 2. 健全な労使関係の構築と印刷産業の発展

企業が発展し続け、働く者の安心と安定を得るには企業内における健全な労使関係の構築が必要であるが、全構成組織において健全な労使関係が構築できているとは言えない状況にある。また、印刷産業をさらに発展させていくには業界団体との連携が必要不可欠である。従って、本部の責任と構成組織の役割を明確にするとともに、業界団体である日本印刷産業連合会ならびに関連団体との連携により各企業と産業の発展を目指していく。

- ① 地方協議会に主眼をおいた「労使運営マニュアル」を用いた教育の実施 <教育・広報委員会>
- ② 債務的条項を中心とした全構成組織における労働協約の締結 <産業政策委員会>
- ③ 組合員が安心して働く事が出来る環境作りのために、全構成組織における安全衛生委員会の設置 <産業政策委員会>
- ④ 印刷産業の発展を目指して、日本印刷産業連合会および関連団体との連携 <産業政策委員会>
- ⑤ 「オフセット印刷工場における健康障害防止対策について」の有効活用 <産業政策委員会>
- ⑥ 受注価格の下落への対応策として「印刷産業における適正な取引の推進」の労使での共有化と取り組みの強化 <産業政策委員会>
- ⑦ 「印刷産業における有機溶剤管理に向けて」の有効活用 <産業政策委員会>
- ⑧ 印刷産業における業種や品種が多様化している中で、他の産業別労働組合や業界団体との連携 <産業政策委員会>

## 3. 組織の更なる発展と福祉の充実

印刷労連が更に発展していくには組織の充実・強化・拡大が重要であり、組織の内部および外部に対する影響力を発揮し、魅力と求心力のある組織にしていかなければならない。とりわけ、組織拡大は少しずつ進んでいるものの、各構成組織の関連企業や非正規労働者への取り組みは不十分であり、課題として捉えておかなければならない。また、組織を拡大させると共に、そのスケールメリットを活かした福祉の充実も重要であり、ライフプランに応じた各種サービスにより生活応援団としての位置づけも重要である。従って、組織の充実・強化・拡大と福祉を充実させるべく取り組みを進める。

- ① 女性リーダーの発掘に取り組み、男女を問わず安心して働き続けられる環境整備 <産業政策委員会>
- ② 地方協議会青年委員会代表者会議と体験学習や研修会の開催 <書記局>
- ③ 残された課題を整理し、進化を求め「地方協議会議長会議」および「地方協議会事務局長会議」の開催による連携強化 <書記局>
- ④ 各種機関会議の充実とあり方や開催数の検討 <三役会>

- ⑤ 各専門委員会の統括と機能の強化 <三役会>
- ⑥ 賃金水準の格差是正、水準の引き上げに向けた賃金政策の策定および安定した一時金の確保 <労働条件委員会>
- ⑦ ワーク・ライフ・バランスの観点からの労働諸条件の維持向上 <労働条件委員会>
- ⑧ 中小企業政策の取り組み強化 <産業政策委員会>
- ⑨ 構成組織における関連企業および非正規労働者を対象とした組織拡大 <組織委員会>
- ⑩ 組合員が安心して生活するために「労働者自主福祉運動」「労金運動」「全労済運動」の推進 <総務・財政委員会>
- ⑪ 時代の変化に見合う規約の見直し <総務・財政委員会>
- ⑫ 本部および地方協議会における適正な財政運営 <総務・財政委員会>
- ⑬ 人材育成と労働運動の継承のための内部および外部機関による教育の実施 <教育・広報委員会>
- ⑭ 「NETWORK」と「ホームページ」を通じた情報提供 <教育・広報委員会>
- ⑮ 雇用・労働・労使・環境などの取り組みの促進と中小企業および福祉の取り組み強化 <産業政策委員会>

## 4. 組織の社会的責任と国際平和

労働組合の社会的責任は重く世論を巻き起こす大きな役割を担っている。とりわけ連合は、政策制度要求の実現に向け働く者や生活者の観点から各種取り組みを進めている。また、各種友誼団体を通じて組織の成長や人材の育成への取り組みも重要となっている。一方、産業政策の実現に向けては政治との連携も重要であり、民進党を中心とした連合が推薦する各級議員への支援も実施していかなければならない。更には、国際組織との連携により国際平和や企業のグローバル展開への対応も重要な取り組みである。従って、組織の社会的責任と国際平和を目指した取り組みを進めて行く。

- ① 連合の政策制度の実現のために連合本部および各地方連合会・地域協議会・地区協議会への各種役員の派遣 <書記局>
- ② 連合を通じた社会貢献活動や自然災害への対応 <書記局>
- ③ 日本生産性本部および全労生への各種役員の派遣と各種取り組みへ参画 <書記局>
- ④ 富士社会教育センターへの役員の派遣や連携による組織の成長と人材の育成 <書記局>
- ⑤ 国際社会の一員としてアジア連帯委員会への役員の派遣と連携 <書記局>
- ⑥ 産業政策の実現に向けた各級議員との連携強化 <書記局>
- ⑦ グローバル化が進展している中で、UNI-GLOBAL UNION / UNI-Apro / UNI-LCJ との連携と世界平和の追求 <書記局>

## 中央委員研修会



(公財) 富士社会教育センター 常務理事 武田 仁 様

中央委員会終了後、富士社会教育センター常務理事、武田様を講師としてお招きし、「労働組合の歴史」についての中央委員研修会を開催した。

労働運動の歴史、民主的労働運動などについて熱のこもったご講演をいただいた。



## 2016 年度構成組織代表者会議

9月3日(土)、東京グランドホテルにおいて「2016 年度構成組織代表者会議」を 29 構成組織が出席し開催した。

各構成組織が抱えている諸課題の解決に向けた取り組みは、産業政策の実現につながることであり、大切な活動に位置づけている。



各構成組織より以下についての報告を受け、意見交換をすると共に情報の共有化を図ってきた。また、印刷関連産業の業態が多様化している中で、労使関係は益々重要となっており、様々な意見交換をする中で、課題解決に向けた共有化を図った。

1. 組織運営の現状と課題
2. 労使関係の現状と課題
3. 印刷労連本部への要望
4. その他

# 2016 連合平和行動報告

～次世代に継承し、運動の継続を～

## 平和行動 in 広島

高橋 財政部長

2016年8月5日～7日の3日間にわたり各構成組織の代表者13名と連合「広島平和行動」へ猛暑の厳しい中、参加してまいりました。参加された方々の『恒久平和』の想いを伝えます。

### 凸版印刷労働組合 中村 信

過去を知る・現在を知る・未来へつなぐことの大切さを学びました。

### 凸版印刷労働組合 結野 正也

被爆者の高齢化に伴い、戦争の恐ろしさ、悲惨さを未来永劫次世代へ継承する事が、その時の世代での責務と感じました。

### 凸版印刷労働組合 高橋 一善

いつまでも微力ながら継続する気持ちを忘れない！

### 凸版印刷労働組合 取本 剛

平和行動に参加し、広島県民の平和を願う想いを強く感じたとともに、老若男女問わず、平和への想いが根付いていることに感銘を受けました。

### 共同印刷労働組合 角田 貴広

原爆に対する広島の方々の思いを、肌で感じる事ができました。

### 共同印刷労働組合 今村遼太郎

過去の遺産や碑を自らの足で巡ることで、戦争の恐ろしさがかつてなく肌で感じました。

### フォームズユニオン 細谷 貴之

被爆体験証言、原爆ドーム、平和記念資料館で体験したものは絶対忘れず、周りや後世に伝える行動をします。

### フォームズユニオン 相田 和弘

戦争の恐ろしさ、悲惨さを風化させることなく、次の世代にしっかりと継承していく事。

### 図書印刷労働組合 羽生 憲司

被爆者自身が爆風で飛ばされてからのリアルな話が聞けた事はものすごく貴重でした。平和行動は我々が普段の生活をしているだけではなかなかできない特別な体験をすることで、改めて平和について考えさせられる機会になります。

### 図書印刷労働組合 西 博史

現地の話を聞き、原爆が世代を超えて今なお続く問題だと痛感しました。

### リーブルテック労働組合 大島 聡

「ピリョクダケド、ムリョクジャナイ」この言葉の意味の深さがとても印象に残りました。

### ココヨ労働組合 高谷 信也

核の被ばく国だからこそ、平和の実現を訴え続ける大切さを知りました。

### ココヨ労働組合 城間 健市

平和記念式にあれだけの人が集まり、若い世代や子どももみんな黙祷を捧げる光景に圧倒され、事の重大さが、心にダイレクトに迫ってきました。



## 平和行動 in 長崎

藤野 副中央執行委員長

2016年8月8日（月）～10日（水）の日程で「連合2016平和行動 in 長崎」に印刷労連として総勢12名で参加してきました。

今年5月にオバマ大統領が、原子爆弾を投下した国の大統領として、はじめて広島を訪問し核兵器の廃絶を訴えたこともあり、例年がない関心の高まりを感じながら各種行動に取り組みました。

「連合2016平和ナガサキ集会」では、高齢化が進む被爆者の証言を後世に伝えると同時に、世界の恒久平和の実現に向け取り組む高校生平和大使の活動が報告され、会場に集結した参加者全員の平和への願いとともに戦後71年目の新たな一歩を踏み出したことを実感しました。

また、猛暑の中、犠牲者の慰霊と恒久平和への想いを込めて、長崎市平和公園で行われた長崎市主催の「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」、爆心地を中心に慰霊碑や被爆の痕を巡る「連合ピースウォーク」、さらには市民とともに手作りの灯笼を浦上川に流す「万灯流し」へ全員で参加してきました。

今回の平和行動に参加し、我が国の平和が維持されていることで、何不自由なく日常生活を送れていることに改めて感謝するとともに、核兵器による惨劇を二度と繰り返させないために、運動を継続していくことを強く認識しました。



## 印刷労連は全労済と連携して 組合員の安心に向け

取り組みます



### 変わりゆくニーズに応えて、 変わらない安心をカタチに。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいている組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら  
**全労済**

全国労働者共済生活協同組合連合会

### 編集後記

八月に開催されたリオデジャネイロ・オリンピックでは、日本選手が当初の予想を上回る活躍で史上最高の四個のメダルを獲得しました。深夜・早朝の競技開催が多く、寝不足になった方も多いと思います。今月開催のパラリンピックや四年後の東京オリンピックの開催に、弾みをつける結果となったと思います。

印刷労連は九月二日に中央委員会を開催し、二〇一六年度の運動方針補強案を満場一致で確認いたしました。今年度は、オリンピックでの日本選手の活躍と同様に最高の一年となるよう、皆さんと力を合わせていきたいと思います。

また、構成組織においては、すでに、定期大会を開催した組織もあると思いますが、各構成組織の運動方針が、実りある議論のもと、確認され、力強く前進するよう、取り組みましょう！

教育・広報委員会

土口 裕

連合  印刷労連  
労働相談ダイヤル  
03-5442-0191



左記QRコードから、是非、印刷労連のHPもご覧ください。  
ID: pimw (半角英数)  
PASS: 1989 (半角英数)